バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023 大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙 流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：https://okashi.info e-mail：ks-news@okashi.info

令和6年 4月22日（月曜日）
（毎月12、22日発行）第2317号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町11-38-618
TEL 06(6385)1717 FAX06(6385)0150
株式会社 菓業食品新聞社
支社・京都
発行人 狩野 智子 一カ年 8,800円

DAGASHIで世界を笑顔にする会

第9回だがしの日イベント

能登被災地の子どもに寄贈

国内外540カ所以上で

だがしと笑顔の交換

（一社）DAGASHIで世界を笑顔にする会（秋山秀行代表理事＝㈱大町）は3月12日（火）を中心に第9回だがしの日イベントを開催した。

同会は3月12日を「だがしの日」と制定しており、イベントでは全国の幼稚園、保育園、児童養護施設、障がい者施設、子どもホスピス、一人親家庭、自衛隊第10師団（能登半島地震被災地支援に尽力）等約540カ所以上で「だがしと笑顔の交換」を行った。同日は子どもたちの笑顔を世界に広げるべく、日本だけでなく海外にもだがしを寄贈している。

1月1日に発生した能登半島地震で被災した子ども達に、駄菓子の詰め合わせ200セットを届けた。被災地の能登町から連絡があり、地元の小学生や保育園児の笑顔の写真やメッセージを集めた冊子もだがしの袋に入れ発送した。後日、能登町のこども園から「だがしという笑顔が広がる素敵な贈り物が届き、子ども達に久しぶりの笑顔の輪が広がった」と感謝の手紙が届いている。

日本一のだがし売場（岡山県瀬戸内市）では3月12日に、だがしと笑顔の交換、だがし紙芝居大会を開催。全国から敏腕紙芝居師4人が参加したほか、占いコーナーや7軒のパン店舗による総菜パンやだがしコラボパンの販売、IPU環太平洋大学による出店などで会場を盛り上げた。同日、恩賜上野動物園・上野恩賜公園（共催＝（公財）東京動物園協会）で、だがしと笑顔の交換スタンプラリー、たがしおじさんによるだがし紙芝居を開催した。

愛知県名古屋市の東山動物園（協力＝㈱山栄、アルファフードスタッフ㈱、小川紙工㈱、㈱米兵、㈱イトピー、カクダイ商事㈱、食品産業新報社、㈱日野澤商店、㈱安井）では3月21日（木）、だがしイベントのほか、動物を学べるスタンプラリーも実施した。

岡山電気軌道では2月20日～3月31日の間、だがし電車を運行。3月9日（土）、岡山電気軌道本社敷地内で、だがしと笑顔の交換イベントを開催。飲食・物販、ゲームブースのほか、だがし電車の展示やダガシマンショー、くじ引きなどを行った。

岡山市の池田動物園では3月10日（日）、IPU環太平洋大学学生の企画・運営により来場者との「だがしと笑顔の交換」を行い、着ぐるみマスコットやショーなどを行った。

大阪経済大学主催のだがしイベントは3月10日、近隣の小学生を招待してわなげなどのゲームのほか紙芝居を実施。

愛媛県大洲市のポコペン横丁では、3月17日（日）に来場者とだがしと笑顔の交換を行った。

東京都の田無神社・總持寺（主催＝ヤギサワベース）では3月10日、「だがしの日 こども縁日」を行った。2カ所の拠点に点在する体験型ワークショップに参加するとスタンプが貰え、スタンプの数に応じてだがしが貰えた。未就学児・小学生のみに配布したスタンプカードは約1200枚で当日は家族連れや一般来場者など4000人が訪れた。市内の各団体がブース出展をしたほか、田無神社境内では紙芝居、アクションなどのステージイベント、總持寺本堂では落語会も開催した。3月10日は宮崎県延岡市北川町で北川コフレ、北川中学校が合同で企画・運営。サッカーJ2リーグ『ファジアーノ岡山』とのコラボ（主催＝岡山キワニスクラブ）でサッカー教室を実施した。

海外ではドイツ、カンボジア、チリ、ノルウェー、フランス、フィリピン、カナダに駄菓子を寄贈した。

東京・上野でイベント

阪急阪神百貨店

冷凍ケーキ宅配

「CAKE LINK」

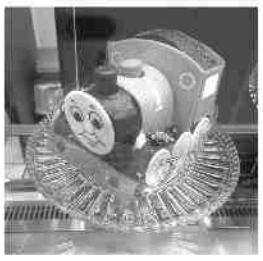
阪急うめだで初イベント

阪急うめだ本店で、4月17日～23日の期間、地下1階ツリーテラスにて、「CAKE LINK」のイベントを初開催した。「CAKE LINK」は、㈱阪急阪神百貨店が2020年10月1日に始めた冷凍ケーキの配送サービス。パティスリーやキャラクター版権元と協力し独自に企画開発したケーキを届けるものでイベント店舗では人気の12アイテムをディスプレイしテイクアウト、全国配送ともに提供した。

専用の包装箱

開店直前の内覧会で、同社の第一店舗グループフード新規事業開発部ゼネラルマネージャーの橋本政人氏が事業について説明した。

冷凍ケーキの市場規模は、国内外において成長過程にある。店頭で買う生ケーキは賞味期限が1日のものが多いが、冷凍ケーキは自宅で注文し全国へ届けることができる。冷凍ケーキの年間市場規模は約200億円で、BtoBが多くを占めており、BtoCはまだ少なく伸び代がある。同社からライセンサーに監修を依頼した上で、商品の企画開発を行っている。他の冷凍ケーキ販売業者と違う点は、全てがオリジナルケーキであること。百貨店リソースを活用したクオリティー・ブランドや安心感を土台に、高級感・信頼感のあるサービスを提供することは外部に委託、3拠点の工場で製造している。現在は全33種類、平均単価は5000円で、送料は全国一律770円、賞味期限は冷凍で2週間。ライセンシーのアンリシャルパンティエ、モンシェール、ゴディバなどのスイーツブランドのほか、きかんしゃトーマス、ポケットモンスターなどの人気キャラクターやファミリアなどファッション業界とのコラボ商品も揃えている。凍結の技術のみならず、冷凍に向いた素材も同じく年々進化を遂げている。冷凍ケーキへの「安っぽい、美味しくなさそう」という概念を覆すべく、ハイクオリティーな商品作りを目指す。製造は衛生環境徹底の下、すべてが手作りで、中味が動かない包装を工夫し、配送実験も何度も行ってきた。スタートから3年強で約3万5千個を販売してきた。



人気の「きかんしゃトーマス」

橋本氏は、「昨年の年間発注は約2万個で前年比150％と伸長、今年はさらに伸ばし前年比200％を目指したい。購買目的の8割ほどが誕生日などの記念日向けでホールケーキが大半だが、今後は個食型ケーキも導入していく。かけがえのない思い出として心に残るケーキ体験をより多くの人にお届けしていきたい」とコメントした。

2面 橋本神社 銘菓奉献会
5面 大阪菓業青年クラブ総会
8面 小倉あん発祥地顕彰式典